

80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合

参考 健康日本21目標 = 80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合を20%以上にする

・都道府県名 _____ ・調査実施年度(西暦) _____ 年

・調査名 _____

・調査方式 口腔診査(歯科健診) / アンケート

・結果

年齢階級 【注】	対象人数	20歯以上 人数	20歯以上 率(%)	備 考

【注】

年齢階級の範囲は、70～80歳代(70～89歳)とします。

年齢の区切り方は、基本的には5歳区切り(たとえば80～84歳)とします。この場合、75～84歳の範囲の年齢階級のデータを記入してください。

年齢階級の区切りが10歳区分の場合は、70歳代と80歳代のデータを記入してください。

また、特定年齢のデータのみ得られている場合(たとえば80歳)は、その年齢のデータを記入してください。

調査結果記入シート 成人・高齢者-2

80歳における一人平均現在歯数

これは健康日本 21 の目標値ではありませんが、一人平均現在歯数は全国的に広く使われている指標であることから、「80歳における20歯以上保有者の割合」の補足データとして収集することにしました

・都道府県名 _____ ・調査実施年度(西暦) _____ 年

・調査名 _____

・調査方式 口腔診査(歯科健診) / アンケート

・結果

年齢階級 【注1】	対象人数	一人平均 現在歯数	標準偏差 【注2】	備考

【注1】

年齢階級の範囲は、70～80歳代(70～89歳)とします。

年齢の区切り方は、基本的には5歳区切り(たとえば80～84歳)とします。この場合、75～84歳の範囲の年齢階級のデータを記入してください。

年齢階級の区切りが10歳区分の場合は、70歳代と80歳代のデータを記入してください。

また、特定年齢のデータのみ得られている場合(たとえば80歳)は、その年齢を記入してください。

【注2】

データがなければ記入していただくなくて結構です。

調査結果記入シート 成人・高齢者-3

60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合

参考 健康日本21目標 = 60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合を50%以上にする

・都道府県名 _____ ・調査実施年度(西暦) _____ 年

・調査名 _____

・調査方式 口腔診査(歯科健診) / アンケート

・結果

年齢階級 【注】	対象人数	24歯以上 人数	24歯以上 率(%)	備考

【注】

年齢階級の範囲は、50～60歳代(50～69歳)とします。

年齢の区切り方は、基本的には5歳区切り(たとえば60～64歳)とします。この場合、65～74歳の範囲の年齢階級のデータを記入してください。

年齢階級の区切りが10歳区分の場合は、50歳代と60歳代のデータを記入してください。

また、特定年齢のデータのみ得られている場合(たとえば60歳)は、その年齢のデータを記入してください。

調査結果記入シート 成人・高齢者-4

60歳における一人平均現在歯数

これは健康日本 21 の目標値ではありませんが、一人平均現在歯数は全国的に広く使われている指標であることから、「60歳における24歯以上保有者の割合」の補足データとして収集することにしました

・都道府県名 _____ ・調査実施年度(西暦) _____ 年

・調査名 _____

・調査方式 口腔診査(歯科健診) / アンケート

・結果

年齢階級 【注1】	対象人数	一人平均 現在歯数	標準偏差 【注2】	備考

【注1】

年齢階級の範囲は、50～60歳代(50～69歳)とします。

年齢の区切り方は、基本的には5歳区切り(たとえば60～64歳)とします。この場合、65～74歳の範囲の年齢階級のデータを記入してください。

年齢階級の区切りが10歳区分の場合は、50歳代と60歳代のデータを記入してください。

また、特定年齢のデータのみ得られている場合(たとえば60歳)は、その年齢のデータを記入してください。

【注2】

データがなければ記入していただくなくて結構です。

調査結果記入シート 成人・高齢者-5

歯周炎に罹患している者の割合(CPIコード3以上)

参考 健康日本21目標 = 40、50歳における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合の減少

・都道府県名 _____ ・調査実施年度(西暦) _____ 年

・調査名 _____

・調査方式(CPI測定方法)# 全歯 / 部分診査(WHO準拠) / 部分診査(その他)

たとえば、1999年厚生省歯科疾患実態調査のように上下顎とも2点計測(上顎は頬側の2点、下顎は舌側の2点)で調査されている場合、「部分診査(その他)」に該当します。いわゆる部分診査の「通法」は「部分診査(WHO準拠)」に該当します。

・結果

年齢階級 【注】	対象人数	CPIコード3以上 人数	CPIコード3以上 率(%)	備考

【注】

年齢階級の範囲は、30～50歳代(30～59歳)とします。

年齢の区切り方は、基本的には5歳区切り(たとえば45～49歳)とします。この場合、35～54歳の範囲の年齢階級のデータを記入してください。

年齢階級の区切りが10歳区分の場合は、上記範囲のデータを記入してください。

また、特定年齢のデータのみ得られている場合(たとえば50歳)は、その年齢を記入してください。

調査結果記入シート 成人・高齢者-6

定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合

参考 健康日本21目標 = 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合を増加させる

・都道府県名 _____ ・調査実施年度(西暦) _____ 年

・調査名 _____

・質問文と回答肢 (調査票の質問文と回答肢をそのまま御記入ください)

--

・結果

年齢階級	対象人数	定期的に歯石除去 や歯面清掃を 受けている人数	定期的に歯石除去 や歯面清掃を 受けている率(%)	備 考

【注】

年齢階級の範囲は、30～60歳代(30～69歳)とします。

年齢の区切り方は、基本的には5歳区切り(たとえば45～49歳)とします。この場合、35～64歳の範囲の年齢階級のデータを記入してください。

年齢階級の区切りが10歳区分の場合は、上記範囲のデータを記入してください。

また、特定年齢のデータのみ得られている場合(たとえば50歳)は、その年齢を記入してください。

調査結果記入シート 成人・高齢者-7

定期的に歯科検診を受けている者の割合

参考 健康日本 21 目標 = 定期的に歯科検診を受けている者の割合の増加(30%以上)

・都道府県名 _____ ・調査実施年度(西暦) _____ 年

・調査名 _____

・質問文と回答肢 (調査票の質問文と回答肢をそのまま御記入ください)

--

・結果

年齢階級	対象人数	定期的に歯科検診を受けている人数	定期的に歯科検診を受けている率(%)	備考

【注】

年齢階級の範囲は、30～60歳代(30～69歳)とします。

年齢の区切り方は、基本的には5歳区切り(たとえば45～49歳)とします。この場合、35～64歳の範囲の年齢階級のデータを記入してください。

年齢階級の区切りが10歳区分の場合は、上記範囲のデータを記入してください。

また、特定年齢のデータのみ得られている場合(たとえば50歳)は、その年齢を記入してください。

調査結果記入シート 成人・高齢者-8

40歳、50歳における歯間部清掃用器具〔注1〕を使用している者の割合

【注1】ここでいう「歯間清掃用器具」とは、デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯間清掃用具全体を指します。

使用者の割合が、デンタルフロス単独あるいは歯間ブラシ単独を示して、歯間清掃用具全体の使用者の割合を示していない場合は、この調査票には回答していただくことなく結構です。

参考 健康日本21目標 = 40、50歳における歯間部清掃用器具を使用している者の割合
(それぞれ50%以上)

・都道府県名 _____ ・調査実施年度(西暦) _____ 年

・調査名 _____

・質問文と回答肢 (調査票の質問文と回答肢をそのまま御記入ください)

--

・結果

年齢階級 【注2】	対象人数	歯間部清掃用 器具〔注1〕を 使用している 人数	歯間部清掃用 器具〔注1〕を 使用している 率(%)	備 考

【注2】

年齢階級の範囲は、30～50歳代(30～59歳)とします。

年齢の区切り方は、基本的には5歳区切り(たとえば45～49歳)とします。この場合、35～54歳の範囲の年齢階級のデータを記入してください。

年齢階級の区切りが10歳区分の場合は、上記範囲のデータを記入してください。

また、特定年齢のデータのみ得られている場合(たとえば50歳)は、その年齢を記入してください。